

全国152支店で開催中!

日本政策金融公庫向けTKC事務所見学会～彦根支店～

平成28年3月16日15:00～17:00 於：税理士法人ランドマーク

日本政策金融公庫様より支店長兼国民生活事業統轄、融資課長、全4名様にご参加いただきました。

現在、日本政策金融公庫様とTKC会計事務所見学会を全国152支店にむけて開催しております。TKC会計事務所の標準業務である「巡回監査」「決算書等の作成プロセス」を現場で確認いただき、中小企業支援機関としてより連携を強化していく機会として開催されています。参加頂いた方からは「決算書ができあがるまでには、手間がかかっており、監査担当者が、経営者と話している内容など垣間見ることができました。」「決算書の見方が変わりました」などの感想を頂戴しました。近畿京滋会でも順次各支店で開催していきます！

TKC会員事務所の実務について紹介 税理士法人ランドマーク 川添先生

川添先生より、TKC会計人のビジネスモデルと圧倒的多数の会計事務所の違いを説明。起票代行事務所では、請求書等の整理から、起票・記帳（会計事務所でも入力）し決算申告しています。TKC会計人の行動基準書では、「起票代行の禁止」がうたわれています。財務の視点：高付加価値戦略である一方、低価格戦略・顧問先拡大がしやすい。顧客の視点：専門家としての親身な相談相手・経営や資金繰りのアドバイスを期待。一方、事務代行・下請け先業務プロセスの視点：業務の標準化、経営助言に時間がとれる。一方、単純作業、現場を見る手間を省略。人材の視点：専門性を活かした仕事でやりがいやレベルアップが出来る。一方さほど専門性を必要としない。



監査の現場での業務の流れを紹介 監査担当者 松村さん

巡回監査では 監査担当者の松村様より、実際の監査の現場での流れを紹介していただきました。

お客様が入力されたFX2のデータを切り出し、巡回監査支援システムにデータを取り込みます。支援システムで、取引の内容についてチェック！入力間違いや漏れなどを修正すると、最後に仕訳の指摘事項として一覧で印刷できます。すべて完了したら指摘事項の伝票番号を見てもらいながら、FX2の仕訳を訂正していただきます。一見面倒ですが、これを行うことで、確実に仕訳間違いなどが無くなってきますよ。



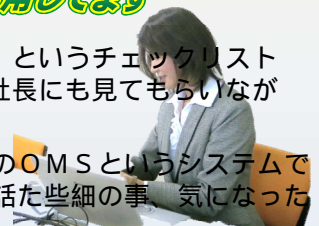
社長との会話

監査が完了すると、社長とFX2の画面を一緒に見ながら数字を説明しています。「前年と比較すると ですが、どうしてか？」ポイントは、試算表の数値と社長の頭の中の数字のブレがないか確認。決算報告では、継続MASの「5つの質問」を。役員報酬が定期同額になってからは必ず社長と翌年の計画を作成することにしています。

継続MASの「業績改善の着眼点」はよく利用しています

TKCの継続MASシステムでは、業績検討会メニューがありまして「業績改善の着眼点」というチェックリストが出力できます。このリストは、業績改善のためのポイントが網羅的に記載されており、社長にも見てもらいながらヒアリングしています。お客様にもよるこんでいただけるシートです。

所長への報告 巡回監査支援システムから「所長への報告」を作成し、あとは事務所のOMSというシステムで報告します。OMSでは併せて業務日報を作成しています。企業様で話した些細の事、気になったこと、大小問わず報告しています。



できあがった決算の内容がわからない経営者が多いのが不思議だと思ってました。

すごいですね～。
お客様もそこまでやれば、すぐに数字の内容も答えてくれますよね。

2ヶ月も入力しなかったら結構つらいですね？
—取引の内容なんか忘れますよね。

FX2の「銀行報告用」って？
資金繰り実績表がシステムから出力できるんですか？資金繰り表は確認したいことがよくあります。



ご感想：まさか、これほど密にやっているものとは知りませんでした。TKCの決算書の信頼性が高い理由がわかりました。適時性証明書のの意味を聞いて大変驚きました。適時性証明書はTKCの決算書にはすべてついてますか？FX2の銀行報告用資料は役に立つと感じました。大変有意義な見学会であり、TKC会計事務所のビジネスモデルがよく理解できました。

